【スマイル大森の開館日が決定】

わがまちいりあらい第100号に掲載した
大森北四丁目複合施設「スマイル大森」について

当初９月の開館を予定していましたが、工事現場での予期せぬ漏水事故により開館時期が延期となっておりました。このたび、修繕工事の目途がたち、12月１日の開館が決まりましたので、お知らせします。
また12月１日の施設開館に合わせ、同日13時～17時に、どなたでも参加可能な施設内覧会とオープニングイベントを実施する予定です。
改めまして、施設開館が遅れましたことをお詫び申し上げるとともに、本記事をもって地域の皆様に周知させていただきます。
なお、現在の詳しい状況は右記のＱＲコード（大田区ＨＰ）よりご確認いただけます。

町のコラム ～入新井西公園～

貴婦人の愛称をもつSL（C57形）があり、平日と土日祝日ともに12時と15時に動輪が５分間稼働し、汽笛が鳴ります。また、こども向けの自転車などを貸出しています。
写真は現在と昭和48年設置当時の様子です。

現在の様子

昭和48年設置当時の様子
国鉄C57形蒸気機関車

SCHOOL TOPICS スクールトピックス

大森二中
大竹基之校長

コミュニティスクール！（以下略称CS）読者の方には耳慣れない言葉かもしれません。今回本紙がこの話題を取り上げるのは大田区がR８年度までに全小中学校導入を目指すCS制度が入新井の地域活動と密接な関りを持つことになるからです。大田区が発表しているCS制度の重要な点は「学校と地域住民などが力を合わせこどもたちのより良い環境作りに取り組む地域とともにある学校を目指す」ことだと思います。

そこで取材班はR3年度からモデル校としてCSとなった大森二中、大竹基之校長に実際のCS制度の運用、課題等インタビューしてきました。

まず大森二中の司令塔、校長に任命された学校運営協議会(地域活動のリーダー、現元PTA会長から構成)が活動の方針を決定、その方針に従って地域学校協働本部がボランティアを集めて実際に活動するというのが基本的な流れ。現在の大森二中の活動を紹介すると ●英数漢検の受付、監督 ●職場体験の斡旋 ●職業人講話 ●授業支援 ●グリーンボランティア ●図書館の環境整備 ●部活動支援　と多岐に渡っています。働き方改革により先生の活動も制限される中、地域の人たちと協力してこどもたちの学ぶ環境を維持、向上させていくという目標に向かい多くのボランティアが頑張っています。CSが区内全校に導入されるとボランティアの人材確保等課題も出てきますが、そこを解消するにはこの活動をプロモーションして更に多くの人たちをこの活動に巻き込んでいくことが必要です。是非読者の皆様もできる範囲、得意な分野でご協力頂ければと思います。　（編集委員　水元 尚）

入新井図書館からのお知らせ

- 開館50周年記念【みんなのまち「これまで」と「これから」写真展】を館内掲示板で10月9日（水）まで開催。地域のみなさまからご応募いただいた写真をぜひご覧ください。
- 10月27日(日)～11月9日(土)は【読書週間】です。期間中ご来館の先着350名に特製しおりをプレゼント。11月3日(日)14:00～18:00は入新井集会室で【リサイクル本市】を予定しています。
- 【電子書籍貸出サービス】をご存知ですか？大田区立図書館かしだしカードをお持ちの区民の方は、インターネットに接続できれば、図書館に行かなくても電子書籍を利用できます。詳しくは図書館でお尋ねください。

大田区立入新井図書館　電話03-3763-3633　毎月第２木曜日は休館　年末年始休館12月29日～１月３日

OTAふれあいフェスタ

開催日時　令和6年 11月2日(土曜日)、3日 (日曜日)
10時～16時まで

会　場
- ふるさとの浜辺エリア（大森ふるさとの浜辺公園）
- 太陽のエリア（平和島公園）
- 緑のエリア（平和の森公園）

表彰

自治会・町会役員 永年在職者表彰

（入一西）	小川　隆	小山内　直美
（入二北）	岡本　晴美	松澤　奈美
（入三東）	池田　勝昭	
（入三西）	齊藤　由紀子	片岩　マサヱ
（入　四）	平林　芳子	灰髙　シズヱ
（北　一）	廣瀬　矢一	
（入　六）	福島　由美子	

編集後記

区切りの100号から新たな出発ができ、この度101号を発行することができました。

今号では夏の風物詩である「入新井盆踊り大会」、「例大祭」のご報告と、「社会を明るくする運動」の特集記事を組みました。関係各方面の皆様には大変にお世話になりました。この紙面を借りまして御礼を申し上げます。ありがとうございました。

今後も地域情報紙の使命を忘れず、編集委員一同心を合わせて精進してまいります。あわせて読者皆様のご意見、ご感想をいただき本紙が益々成長できますよう願っております。

よろしくお願い申し上げます。

（編集長　臼田　幸生）

わがまち いりあらい

（年３回１月，５月，９月発行）

発行：
地域力推進
入新井地区委員会
編集事務局：
入新井特別出張所
〒143-0016
大田区大森北1-10-14
TEL 3761-5303

入新井特別出張所管内の人口
令和６年９月１日現在
世帯数　24,675（+149）
男　21,490（+124）
女　20,729　（+81）
計　42,219（+205）
（　）内は2024年5月1日比

猛暑を吹き飛ばせ! 第22回 入新井盆踊り大会

昨年から再開された夏のお楽しみ、「第22回入新井盆踊り大会」が盛大に行われ、初日こそ降雨の関係で午後7時半に終了したものの、２日目は猛暑もなんのその、近隣から2日間でおよそ3500名あまりの老若男女が、午後９時近くまで踊りに夜店にと、夏の夜の夢の如く、楽しいひと時を過ごしました。おなじみの「大森甚句」「炭坑節」や「東京音頭」「きよしのズンドコ節」に加え、今年は「アンパンマン音頭」「すっきり音頭」も追加され子供さんたちは大喜び!!天国から見ていたご先祖様も、思わず飛び入りしたくなる盛り上がりでした。

（編集委員　鴫原 光男）

（第22回入新井盆踊り大会　7月20日・21日　入新井西公園そば通称グリーンベルトにて）

コロナ禍で中止されていた 磐井神社本祭りが 6年ぶりに8月2～4日、開催されました。

磐井神社例大祭が2年に一度の本祭りで、今年は8月2～4日の3日間、例大祭、町内渡御、連合渡御の3つの主要イベントが行われました。

神輿御霊入れは、初日に行われるイベントです。神輿は、神社を出発し氏子の町内を巡行します。神輿渡御は、地域の人々にとって、神様を身近に感じることができるお祭りです。

各町内会で多少日程が違いますが、子供神輿、町内渡御は、3日午前9時よりお囃子、神輿、山車披露など、子供の健康、安全を祈念し、各休憩所を感謝を込めて廻ります。今年は暑さ対策のため午前中に実施されました。

例大祭は、クライマックスを飾るイベントで最終日の午前9時から氏子各町内の子供神輿・山車が町内渡御を巡り、午後1時より平和島から大人神輿の連合渡御(6町会+根岸神社3町会参加)が盛大に町内を巡り午後6時頃、御霊返しを持って終了しました。お祭りには神輿渡御は欠かせないので、今後も変わらず多くの人に受け継いでいってほしいものです。　（編集委員　新元 賢二）

「磐井神社例大祭とは」　磐井神社の創建は、敏達天皇2年（573年）と伝えられています。社伝によると、敏達天皇の勅命により、宇佐八幡宮の神宝である「鈴石」が当社に授けられたとされています。この「鈴石」は、当社（鈴の森八幡社）の名の由来にもなっています。当社は、武蔵国の総社八幡宮として崇敬を集め、多くの武将が参拝しました。
例大祭は8月の第1土日曜日。隔年の本祭に磐井神社の氏子六ヶ町の町神輿と根岸神社の宮神輿の連合渡御が行なわれる地域に根ざした盛大なお祭りです。

特集

社会を明るくする運動

社会を明るくする運動とは？

すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。

社会を明るくする運動のはじまり

昭和24年７月１日、新しい更生保護制度として「犯罪予防更生法」が施行されました。当時、戦後の荒廃の中、街にはこどもたちがあふれていました。こどもたちの将来を危惧した東京、銀座の商店街の有志がこの法律の思想に共鳴し、同年７月13日から1週間にわたって自発的に「犯罪者予防更生法実施記念フェアー(銀座フェアー)」を開催しました。

この銀座フェアーをきっかけに活動が広まり、翌昭和25年7月1～10日には、犯罪者予防更生法1周年を記念して「矯正保護キャンペーン」が全国的に実施されました。

昭和26年7月、これらの活動を通じて、犯罪の防止や立ち直りには一般市民の理解と協力が不可欠であるという認識を深めた法務府(現、法務省)は、この啓発活動を将来にも継続、発展させる必要があるとして、"社会を明るくする運動"と名付け、国民運動として世に広げることになりました。

(引用、参考、法務省HP「社会を明るくする運動」のはじまりについて)

大田区における社会を明るくする運動

大田区では、強化月間である毎年7月に、大田区長を委員長として各種活動を展開しています。さらに、本活動を地域に根差した運動として盛り上げることを目的に、各地区でも集会をおこなっています。なお、東京都でも都知事を委員長として活動を展開しています。

座談会

「入新井地区における社会を明るくする運動」

参加者
- ●入新井地区自治会連合会会長　鴇田　實
- ●大田区青少年対策　入新井地区委員会会長　波岡　邦典
- ●大田区保護司会第一分区４班班長　河野　博剛
- ●入新井地区民生委員児童委員協議会会長　坂野　麻実子

司会
- ●編集委員　水元　尚

以上、入新井地区で社会を明るくする運動（以下略称　社明会）にかかわりの深い４人で座談会を進めていきたいと思います。

司会　まずは皆さんの社明会とのかかわりについてお聞かせください。

波岡　社明会の歴史的背景がわからずもうひとつピンとこない部分はあるんだけど、以前、落語家さんがきて講演してくれたのは覚えてるかな、最近はPTAに働きかけて子育て世代の参加が増えた気がするね。7月の講演会の参加が主なかかわりかな。

河野　社明会は保護司が中心になって進める運動と認識はしています。最近の傾向としてはPTAのかかわりが強くなってきて集会や講演も働いている方が参加しやすい夜に変わってきましたね。

鴇田　町会としては動員がかかって集会や講演に参加者を集めるのが主なかかわりかなあ。いつも婦人部の皆さんにお世話になってます。

鴇田氏

坂野　民生委員もメンバーにはなっていますが保護司がメインの会で正直あまりかかわりはない感じですね。集会、講演会には参加しますが。近年講演の内容が変わってきた感じがしますし、今回の大森二中開催もPTAの方が足を運びやすくていいんじゃないでしょうか。

司会　それでは社明会の活動形態について河野さん、お聞かせ下さい。

河野　保護司が中心となり会を動かしているのは各地区同じですが地区によりやり方はかなり違います。入新井地区は自治会、青少対、保護司会が社明会開催を輪番制にしています。活動を広げる試みとしてはいいと思うのですが情報の共有が難しいなど課題も見えますね。

令和６（2024）年９月 18 日発行　　第１０１号

司会　7月17日に社明会のメインイベントといっていい講演会（「不登校になりかけたら」　蟇田薫）が大森二中で開催されました。その講演会についての感想を皆さんお聞かせ下さい。

波岡　講演内で行われる大事なワークショップの時間が足りず、イベント全体の時間配分をしっかりする必要性を感じたね。

河野　メインの講演会が始まるまでの時間が長くなり肝心の講演時間を十分取れなかったのは反省点。初めての大森二中開催で先生、生徒、PTAの協力がたくさん得られたのはありがたかったですね。

鴇田　私は流行り病で欠席しました。熱にうなされて辛かった。

坂野　メインの講演の時間が押して、QRコードで資料を見て下さいという部分が多く使いこなせない人には厳しいなと思いました。大森二中に会場が変わったことで若いお母さんたちが増えた気がしましたね。

司会　講演のテーマはいかがでしたか？

波岡　テーマ云々より時間が押してバタバタになり蟇田先生に対し申し訳ない気持ちになっちゃった。

河野　PTAの方の参加が多くなりどこの層にターゲットを絞るかが難しい。大森東地区が今年ヤングケアラーについて取り上げたら今までになく参加者が増えたそうです。

鴇田　どうしてそんなに参加者が増えたのかな？一生懸命動員かけた？

河野　大森東地区は例年参加者が少ないんですけど、今年はPTAを中心に100名ほどの参加、場所や雨天だったことを考えると大盛況ですよ。やっぱりテーマのチョイスかなあ。

波岡氏

坂野　今年の不登校の話し、こどもへの声のかけかたとか勉強になる部分も多かったですよ。できれば動員をかけずに人がくるのが一番ですけど。

河野　大田区でもエリアによりやり方が違いますし、うちも変更が必要な部分はいい方向に変えていこうと思います。

司会　難しいかもしれませんが社明会の意義とはどんなものかお願いします。

河野　正直なところ保護司を始めてから社明会の存在を知りました。意義となると…。

波岡　社明会に青少対が入っていることの意味、まずはこどもたちに安全な環境を作る、それには安全な地域を作ることが必要、そして大元は明るい社会を作ること。当然地域の多くのグループの協力が必要となりますよね。それをつなぐのが社明会じゃないでしょうか。

鴇田　今の町会は高齢者が多く僕も含め新しいことに対応しずらい。社明会は扱う範囲が広すぎる気がするので町会としては青少年の健全育成が主題なら協力もしやすいと思うよ。

河野氏

坂野　社会全体を住みよくしようというのが民生委員の意義ですがこの部分は社明会と共通していると思います。何をしているのか今ひとつ皆さんに伝わっていないのも民生委員と似ているかもしれませんね。

司会　今回の社明会は初めて大森二中で開催されました。社明会と学校の関係についてお願いします。

河野　今回大森二中での開催で同地区の学校長の参加が多かったですね。

鴇田　みんな次はうちかな？と心配して様子を見に来たんじゃないかな（笑）

坂野　どこの学校でも不登校の問題を抱えてるから講演のテーマもタイムリーでしたよね。

波岡　小学校のPTA会長に次は是非うちでと声をかけてもらいました。毎年場所が変わるのは準備に手間がかかるけど運動を広げるにはいい方法だよね。

鴇田　今回の状況を見てもこれからのターゲットは子育て世代のPTA、青少年の健全な育成をメインにするのがいいのかな？

坂野氏

司会　それでは最後に来年度の社明会の方向性についてみなさんお聞かせ下さい。

波岡　まず企画段階で目標を決める、メインが決まれば全体の方向付けもしっかりできる。

河野　各団体としっかり情報共有することが大事。それができていれば皆さんの協力も得られやすいかなと思います。

鴇田　町内会は先ほど言った高齢化もあってなかなか動けなくなっているからね。どうしてもオブザーバー的な感じになってしまうかな。

坂野　参加した人が楽しめる催し、入新井地区の独自性を出せればさらにいいのかな。

鴇田　最後に、みんなどうして社明会のイメージキャラクターがペンギンなのか知ってる？

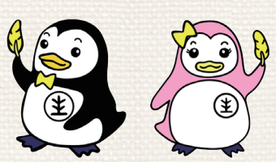
一同　どこかで聞いた気もするけどはっきり覚えていないなあ。

鴇田　ペンギンはどんな鳥だい？

一同　飛べない鳥ですね。

鴇田　そう！「飛ぶ」は言い換えると「飛行」。飛べない→飛行ない→非行ないってことでペンギンがキャラに決まったんだよ（笑）

司会　しっかり鴇田会長が締めてくれたところで本日の座談会を終了したいと思います。皆様長時間お話しいただき本当にありがとうございました。



更生ペンギンの
ホゴちゃん、サラちゃん
法務省HPより